

正誤表

頁	訂正箇所	(誤)	(正)	備考
P28	上段後ろから7行目	神野山のルビ(こうのさん)	こうのやま	山添村や観光協会の文書では基本的に"こうのやま"が使われている
P31	上段8行目	日本随一	西日本随一	P255上段1行目 西日本随一
P32	上段2行目	土器絵画	絵画土器	
P39	上段10行目	息	息子	下段5行目の表現(息子)に合わせた
P44	上段後ろから7行目	筒井氏は西軍、越智氏は東軍	筒井氏は東軍、越智氏は西軍	H29年4月の訂正がなされていないため、要訂正
P45	上段最終行	物産	産業	「南都随一の産業」は決まった語句
P55	中段6行目	大柳生の太鼓踊り	現在は休止している	2012年8月をもって休止となった
P55	下段15行目	一刀岩	一刀石	鬼滅の刃のモチーフとして有名
P58	上段6行目	(天竺様)	削除	現在は大仏様という表現である。
P58	上段後ろから8行目	日光・月光両菩薩像	削除	現在は東大寺ミュージアムに安置
P58	下段後ろから6行目	(奈良国立博物館寄託)	削除	H29年4月の訂正がなされていないため要訂正
P60	上段10行目	木造法相六祖坐像	削除	現在は南円堂に安置
P64	中段最終行	影清	景清	
P69	中段後ろから8行目	興正菩薩坐像 重文	興正菩薩坐像 国宝	現在は国宝となっている。
P73	中段6・8・14行目	講堂	大講堂	
P74	中段3・6行目	旧開山堂	開山堂	本願殿(旧開山堂)は開山堂として復帰
P74	中段後ろから4行目	木造持国天・増長天が重要文化財	木造持国天・増長天が国宝	2019年に重文から国宝に
P75	中段後ろから6行目	多宝塔	相應殿	
P78	下段7行目	奈良文化女子短大	奈良学園	
P86	中段1行目～3行目	被葬者は舎人親王の可能性が指摘されている。	削除	2009年調査で否定された。年代が違う(7世紀半ばと判明)
P88	中段後ろから2行目	西側	東側	
P89	中段後ろから6行目	約86㍍	約109㍍	

P89	中段後ろから5行目	奈良県最大級	日本最大	近年の調査による変更
P91	下段1行目	仲秋	中秋	
P94	中段最終行	神野山自然公園	県立月ヶ瀬神野山自然公園	月ヶ瀬と共同で自然公園となっている。(P121の県立矢田自然公園と表現を合わせる)他にP231の吉野川津風呂自然公園も「県立」をつける
P98	下段最終行	4月4日	4月10日	『日本書紀』による
P99	下段9行目	木造不動明王像	木造不動明王像(重文)	この像は協侍と共に2016年に重文となっている
P114	下段後ろから6行目	春岳院	春岳	戒名の「院」は不要⇒削除
P117	中段最終行～下段1行目へ	鏡池(明星池)の池島に立つ	削除	以前は池島にあったが現在は境内に移されている
P130	下段5行目から次ページ上段3行目まで	本尊の～三尊は重要文化財まで	現在ここに登場する5尊の仏像(渡海文珠群像)全てが国宝となっている。	・文殊菩薩騎獅像・善財童子立像・優曇王立像・維摩居士立像・須菩提立像
P133	上段後ろから6行目	女寄峠のルビ(めより)	みより	
P136	下段7行目		出土品は一括して2017年に国宝指定。	現物は東京国立博物館に展示
P143	上段後ろから3行目	主要	小(?)	現在の文章は意味不明。小をタイプミスで主要と打ち間違ったか?
P144	中段一番後ろの行	女寄峠のルビ(めより)	みより	
P146からP157	宇陀市の住所表記	宇陀市～区 例:宇陀市榛原区	例:宇陀市榛原	宇陀市住所の「区制」は現在廃止となっている
P147	宇陀地図	宇太水分神社(上社)	宇太水分神社(中社)	
P151	中段12行目から下段3行目まで	仏像の安置場所が新設の寶物殿へ変更となっている	(金堂⇒寶物殿)・木造十一面観音立像・木造地藏菩薩立像・十二神符立像(6軀)(弥勒堂⇒寶物殿)・木造釈迦如来坐像	
P157	中段1行目	桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村	桜井市、奈良市、宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村	中段13行目にあるように、国天然記念物の奈良市都祁吐山のスズラン群落も含まれるため
P159	下段後ろから2行目	7月28日、29日	7月28日	現在は7月28日の1日のみで実施
P162	上段8行目	子鳥寺	長谷寺	H29年4月の訂正がなされていないため要訂正
P163	上段10行目	三十三ヶ所	三十三所(「ヶ」削除)	
P165	上段最終行	三十三ヶ所	三十三所(「ヶ」削除)	
P179	上段11行目	不明	方墳	2011年発掘調査により方墳と判明
P184	上段3行目	方墳	「階段ピラミッド」形状の方墳	2016年類例のほとんどない形状であることが発表された。

P194	上段1行目と4行目	北	西	寺院現地の案内板内容に揃える
P194	中段5行目	職	織	
P196	上段後ろから7行目	五	四	2019年から4月14日開催となる
P201	中段4行目	県内最大	県内最大級	富雄丸山古墳（109m）が県内最大（国内最大）
P216	上段9行目	室	牟婁	中段2行目は高牟婁院となっている
P231	下段6行目	吉野川津風呂自然公園	県立吉野川津風呂自然公園	3 県立自然公園は表記を揃える① 県立月ヶ瀬神野山自然公園 P94② 県立矢田自然公園 P121 ③ 県立吉野川津風呂自然公園
P234	国指定の天然記念物	瀬八丁	国指定天然記念物の項目に「瀬八丁」を加える	奈良県（和歌山県、三重県の三県に跨る）にある国指定天然記念物であるのでP231にの項目「瀬八丁」の内容を国指定天然記念物の中に加える。
P236からP251	国天然記念物・花の名所の宇陀市の住所表記	宇陀市～区 例：宇陀市榛原区	「区」を削除 例：宇陀市室生	宇陀市住所の「区制」は現在廃止となっている
P254	下段6行目	国指定史跡	県指定史跡	平成29年4月の訂正がなされていないため要訂正
P258	3段後ろから8行目	橿原市千塚資料館	歴史に憩う橿原市博物館	
P259	3段後ろから11行目	橿原市千塚資料館	歴史に憩う橿原市博物館	
P264	上段8行目～9行目	伝日光・月光～が塑像	削除	法華堂から東大寺ミュージアムに移動
P265	上段8行目～最終行	不空羂索観音像～造像されたものであろう。	削除	伝日光・月光菩薩は法華堂から東大寺ミュージアムに移動
P267	中段後ろから2行目	阿弥陀如来立像	俊乘上人坐像	最終行に「遺像」とあり、また次に解説があるため俊乘（重源）上人像が正しいと思われる
P269	中段3行目～中段後ろから3行目	法相六祖～造立したものである。	削除	国宝館の法相六祖坐像は南円堂に移された
P272	中段8行目～19行目	四天王立像～表面は彩色仕上げ。	削除（この四天王像は現在は中金堂に移されている）	南円堂には2018年に仮金堂（当時）の四天王像（この年この像は国宝指定に）と国宝館、奈良国立博物館にあった法相六祖坐像が移された。これにより、南円堂には・本尊不空羂索観音像（国宝）・四天王像（国宝）・法相六祖坐像（国宝）と康慶の作品が揃うことになった。
P276	唐招提寺（新国宝の仏像あり）		新宝蔵、講堂にある6 軀の仏像が2019年国宝指定。	
P281	法華寺（新国宝の仏像あり）		2017年木造維摩居士坐像が国宝指定。	
P282	上段7行目	多宝塔	相應殿	
P283	上段後ろから5行目	十一面観音立像	金堂から新設の寶物殿に移されている	

P283	中段6行目	釈迦如来坐像	弥勒堂から新設の寶物殿に移されている	
P290	下段後から8行目	仏教美術センター	仏教美術資料研究センター	
P290	下段後ろから5行目	登録文化財	重要文化財	2015年に重要文化財になった。
P292	中段後ろから8行目	伝統的	重要伝統的	
P292	中段後ろから7行目	の2か所	と五條新町の3カ所	
P292	中段後ろから3行目	新町	削除	
P293	中段4行目	伝統的	重要伝統的	
P294	上段2行目	伝統的	重要伝統的	
P294	中段後ろから2行目以降から P295中段3行目まで。		五條新町が2010年に奈良県で3番目の重要伝統的建造物群保存地区になった。	
P295	上段後ろから5行目	かげろう座	かげろう座は2012年をもって終了。	
P302	上段12行目～14行目	毎年踊られる唯一の太鼓踊りである大柳生の太鼓踊りは8月17日に行われる。	削除	2013年以降休止中
P303	上段7行目	1月25日	1月第3日曜日	以前は1月25日に惣谷狂言と時間を入れ替えて行ってきたが、2018年より1月第3日曜日に変更された。
P306	上段3行目	11日、12日	第3金曜日・土曜日	
P307	上段後ろから5行目	5月14日	4月14日	酷暑のため4月実施に変更
P308	中段12行目	競って取り合う	拾う。	奪い合う形ではなくなっている。
P311	中段9行目～10行目	毎年踊られる県内唯一の太鼓踊りである。	削除	2012年8月を最後に現在休止中。
P313	上段に補足		2009年、ユネスコの無形文化遺産登録	奈良県初のユネスコ無形文化遺産
P316	1段1行目	成人の日の前日	第4土曜日	
P316	3段後ろから6行目	3月30日～4月5日	3月25日～3月31日	修二会行事として3月中に行う様になった。
P317	3段12行目	仲	中	